

## マンションの適正管理促進に関する検討会の設置について

### 1. 設置の趣旨

東京において分譲マンションは、都民の主要な居住形態であるとともに、都市や地域社会を構成する要素として重要であり、地域のまちづくりやコミュニティ等とも密接に関連する社会性の高い住宅ストックである。

現在、マンションにおいては、建物と居住者の「二つの老い」が進行している。このようなマンションでは、役員のなり手がいないなど、管理上の問題が増加する傾向にあり、この現状を放置すれば、居住環境はもとより、防災や防犯、衛生など、地域の生活環境や市街地環境にも悪影響を及ぼすおそれがある。

これらを予防して、マンションの適正な管理を促進し、都民の豊かな住生活を支える良質なマンションストックを形成することが重要となっている。このためには、管理組合の自主的な取組に加えて、行政がこれまでよりも積極的に関与し、管理組合の機能強化を図るため、より踏み込んだ施策を実施していくことが必要である。

以上を踏まえ、東京における今後のマンションの適正な管理の促進に向けた実効性のある施策を具体的に検討するため、マンションの適正管理促進に関する検討会を設置することとする。

### 2. 主な検討事項

管理組合の機能強化を図る施策について

- ・マンションの管理不全の兆候を把握するための施策
- ・マンションの管理状況に応じた支援策等の在り方